

2018（平成30）年6月20日

ご住職・門信徒の皆様

福岡教区教務所長 菊池 慈峰

同時局問題対策協議会会長
芳村 隆法

時局問題対策協議会連続公開講座開催のご案内

戦後73年目の今年、朝鮮民主主義人民共和国（以下「朝鮮」）と大韓民国（以下「韓国」）の関係が大きく進展しようとしています。同じ民族でありながら、第二次世界大戦後の世界政治の動きのなかで分断されてきた国が将来の統一に向けて動き出したように見えます。同じ理由で東西に分断されていたドイツは、1990年に再統一されましたが、「朝鮮」・「韓国」は今なお分断されたままです。

ここ数年、日本では中国や「朝鮮」・「韓国」に対するヘイトスピーチや嫌中・嫌韓本等に見られる嫌がらせが横行するようになりました。さらに「朝鮮」に対しては、拉致問題もあって厳しい見方が当然のことになっていますが、その理由が何なのか冷静に考える必要があります。

朝鮮半島の分断が73年にもなる直接の原因はアメリカと中国・ロシアの対立によるものですが、それ以前には日本が35年にわたって朝鮮半島を植民地支配していたことも忘れてはなりません。この間に植えつけられた日本人の「朝鮮」・「韓国」に対する差別は、人々の意識だけでなく国の政策としても今なおありつづけています。

国内の中国や「朝鮮」・「韓国」に対する嫌がらせや差別に対して、浄土真宗の教えに生きる私たちはどのように真向かうべきなのでしょう。

そもそも日本の文化はほとんどが中国、朝鮮からもたらされてきたものです。文字や暦、生活文化、国の制度と名称などもそうですが、日本の仏教そのものが中国・朝鮮を抜きにはありえませんし、私たちがいただいているお念仏の喜びも、中国・朝鮮の人々が受け伝えてくださったからこそです。

これらの問題を一つひとつ受け止めながら、ともに同じ時代を生きる人間同士として、対等に出会っていける道を拓いていかななくてはなりません。

時局問題対策協議会はいろいろな課題を提案しながら、教区のみな様と共に学ぶ公開講座を開いてきましたが、今年は世界の注目を浴びている「朝鮮」・「韓国」問題について、「仏教と共生社会」をテーマに連続3回の公開講座を開催いたします。

お誘いあわせ、お気軽にご参加くださいますようご案内申し上げます。（裏面参照）

以 上

第1回公開講座

日 時 2018（平成30）年9月7日（金）

13:00～17:00

会 場 本願寺福岡教堂

講 師 堀田広治さん（日本コリア協会・福岡）

テーマ 仏教と共生社会

－ 朝鮮はなぜ南北に分断されているのか －

第2回公開講座（フィードワーク）

日 時 2018（平成30）年10月12日（金）

会 場 飯塚方面

第3回公開講座

期 日 2019（平成31）年 日時未定

会 場 本願寺福岡教堂

第2回、第3回の詳細内容につきましては、あらためてご案内申し上げます。

※日本の行政機関やマスメディアは朝鮮民主主義人民共和国を「北朝鮮」と表現していますが、共に学びをすすめていくうえから、案内には「朝鮮」と表記いたしております。

2018（平成30）年8月8日

ご住職・門信徒の皆様

福岡教区教務所長 野村宗雄

同時局問題対策協議会会長
芳村隆法

時局問題対策協議会第2回公開講座(フィールドワーク)開催のご案内

戦後73年目の今年、朝鮮民主主義人民共和国（以下「朝鮮」）と大韓民国（以下「韓国」）の関係が大きく進展しようとしています。同じ民族でありながら、第二次世界大戦後の世界政治の動きのなかで分断されてきた国が将来の統一に向けて動き出したように見えます。同じ理由で東西に分断されていたドイツは、1990年に再統一されましたが、「朝鮮」・「韓国」は今なお分断されたままです。

ここ数年、日本では中国や「朝鮮」・「韓国」に対するヘイトスピーチや嫌中・嫌韓本等に見られる嫌がらせが横行するようになりました。さらに「朝鮮」に対しては、拉致問題もあって厳しい見方が当然のことになっていますが、その理由が何なのか冷静に考える必要があります。

朝鮮半島の分断が73年にもなる直接の原因はアメリカと中国・ロシアの対立によるものですが、それ以前には日本が35年にわたって朝鮮半島を植民地支配していたことも忘れてはなりません。この間に植えつけられた日本人の「朝鮮」・「韓国」に対する差別は、人々の意識だけでなく国の政策としても今なおありつづけています。

国内の中国や「朝鮮」・「韓国」に対する嫌がらせや差別に対して、浄土真宗の教えに生きる私たちはどのように真向かうべきなのでしょう。

そもそも日本の文化はほとんどが中国、朝鮮からもたらされてきたものです。文字や暦、生活文化、国の制度と名称などもそうですが、日本の仏教そのものが中国・朝鮮を抜きにはありえませんし、私たちがいただいているお念仏の喜びも、中国・朝鮮の人々が受け伝えてくださったからこそです。

これらの問題を一つひとつ受け止めながら、ともに同じ時代を生きる人間同士として、対等に出会っていける道を拓いていかななくてはなりません。

時局問題対策協議会はいろいろな課題を提案しながら、教区のみな様と共に学ぶ公開講座を開いてきましたが、今年は世界の注目を浴びている「朝鮮」・「韓国」問題について、「仏教と共生社会」をテーマに連続3回の公開講座を開催いたします。

お誘いあわせ、お気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。（裏面参照）

以上

※申込は裏面(申込書)にご記入のうえ FAX にて福岡教区教務所まで送信してください。

FAX 092-771-8914

日 時 2018(平成30)年10月12日(金) 13時30分
JR福北ゆたか線桂川駅前集合・出発 (フィールドワークは貸切りバスにて移動)

参加費 無料

内 容

13:50 徳香追慕碑

昭和44年、吉隈炭鉱が閉山した後には広大な土地が残された。会社はそこを住宅団地に造成して売り出すことにした。よって邪魔になった吉隈炭鉱災害犠牲者の碑を昭和55年撤去した。したがっていまある徳香追慕碑(とっこうついぼひ)は昭和57年一部地元住民等の強い要望によって再建されたものである。元々の碑は昭和17年3月10日に建立され、いまの碑よりもっと背が高く大きなものであったらしい。3月10日と言えば陸軍記念日。明治38年3月10日、日露戦争で日本帝国陸軍が勝利したのを記念し戦前・戦中、国民の休日となった(昭和20年日本の敗戦に伴い廃止された)

吉隈炭鉱災害犠牲者の霊を慰めるために建てられたはずの同慰霊碑も 麻生会社側にはそういう意図があったようである。そして「銃後の護り」を祈願するなどして戦争に利用していった。

実際、先の元吉隈炭鉱坑夫のご老人もこれを「忠霊塔である」と、そう呼び、あまり関心を示すことをしなかった。

14:50 松岩菩提

第二次世界大戦中に災害や病気で亡くなった旧古河鉱業目尾(しゃかのお)炭坑の労働者ら252柱の遺骨が眠る小竹新多(にいた)の「松岩菩提(しょうがんぼだい)」の供養祭が4日、同町中央公民会で約100人が参列して行われた。遺骨の大部分は朝鮮半島から強制的に連れて来られた人々。過酷な労働条件の中、落盤などの災害、病気や栄養失調などで命を落とし、敷地内の小竹合盟墓地に葬られた。

(毎日新聞2016年9月5日 地方版より)

15:40 無窮花堂

2001年12月に、福岡県飯塚市庄内笠置ダム公園飯塚霊園の国際交流広場に建立された朝鮮人納骨堂「無窮花堂」。1995年、故・裴来善さんの呼びかけから、筑豊における強制連行犠牲者納骨式追悼碑の建立が始まった。完成までの5年間、裴さんを代表にした「在日コリア強制連行犠牲者納骨式追悼碑建立実行委員会」は飯塚市当局と数十回にわたり協議を重ねた。結果、市は98年8月に①強制連行の事実を認め②歴史的事実を後世に残すことを認識し③国際交流・親善の一助になってほしいと市霊園地の一角を無償で貸し付けることを正式に回答、14日には共同記者会見の場で市有地貸付の覚書を実行委員会と交わした。建設費約3000万円はほぼ募金で賄われた。第2期工事として、2002年11月に無窮花堂のまわりに、朝・日の歴史を示す17枚のパネルによる歴史回廊が設置された。

17:00 終了後、新飯塚駅・桂川駅へ 希望者は引き続き交流懇親会へ移動

【解説とお話】 吉柳順一さん ペ・トンクさん ト部哲生さん

17:30 交流懇親会 コリアンハウス洪苑 穂波店(0948-23-8299)

会費 5,000円(当日ご持参ください)

◎時局問題対策協議会第2回公開講座(フィールドワーク)に参加いたします

組 寺 名前

交流懇親会 参加 不参加 (該当する方に○をつけてください)

第1回公開講座案内

日 時 2018(平成30)年9月7日(金) 13:00~17:00

会 場 本願寺福岡教堂

講 師 堀田広治さん(日本コリア協会・福岡)

テーマ 仏教と共生社会 ー朝鮮はなぜ南北に分断されているのかー